

いいたてっ子運動会

直前までの降雨にも負けず、先生方が超スピードで校庭を回復。2年振りの運動会を園児児童生徒でやりきったよ！

スローガン 運動会の呼吸 とことんやりきる！

今年度から1～9年生が同じ運動着に。
一体感が増します



5月22日、「いいたて希望の里学園」の校庭で、園・学校合同の「いいたてっ子運動会」が開催されました。新型コロナ感染拡大の影響で昨年は実施が見送られましたが、今年は、観覧の制限や種目の工夫など、感染対策を重ねて実施しました。運動会には、学園の児童生徒と、「までのりの里のこども園」の3歳以上児が参加。園児から9年生までが、それぞれの種目に力いっぱい取り組み、上級生は係活動にも積極的に取り組みながら、2年振りの運動会を楽しみ、盛り上げました。



オリンピックをテーマに（1～6年生）



全児童がスタート前に抱負を発表



一人ひとりが全力で！（3～4年生100m走）



気合十分のスタートライン（1～2年生70m走）



「までのりの里のこども園」の園児が登場

会場をわかせた息ぴったりの集団行動（7～9年生）



ゴール前、白熱の競り合い（5～6年生130m走）



共にベストを尽くして（3～4年生100m走）



スタートダッシュ！（1～2年生70m走）



表情豊かに元気いっぱいのダンスを披露



までのりの里のこども園 新しい園旗ができました

4月28日、までのりの里のこども園で、「園旗贈呈式」が行われました。
村が園に贈った園旗には、園章が刺繍されています。園章のデザインは、「までのりの里」の「里」の字をモチーフにしていて、子ども達を「若芽」として表現。その若芽を両手で包み込むデザインは、子ども達を見守る村の人や、時の積み重ねを表しています。また、大空に向かっていく願いも込められています。

杉岡村長（右）が石川幸男園長に園旗を手渡し、「時代に即した柔らかかな考えや、優しい気持ちをもって成長してほしい」と子ども達への思いも伝えました。



いいたて希望の里学園 イングリッシュルーム

4月から利用が始まった「イングリッシュルーム」。外国語活動・外国語の授業はこの教室で行い、英語の歌を歌ったり、英語担当の三浦有矢先生と根本奈於先生、ALT（外国語指導助手）のキャメロン・ノール先生と英語で話したりしながら、英語力を身につけていきます。教室の中には、世界の国旗が飾られ、天気感情などを表現する単語や、身の回りで使う単語が至る所に掲示されています。1年生から9年生まで、全学年で外国語に親しむ活動や英語による授業を取り入れており、学年が上がるにつれて授業の回数が増えていくそうです。三浦先生は、「この教室に入ると、自然と子ども達のスイッチが入るのが分かります」と、うれしそうに話していました。



6年生の英語の授業の様子